

安全上のご注意

警告

- 煙が出ている、変な臭いがあるときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落としたり、キャビネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造した形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないで下さい。交通事故の原因となります。
- 航空機内で使用するとき、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

設置するとき

- 野外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因になります。
- 閉め切った自動車内・ストープなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を動作させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストープのそばなどに置くと、火災・感電の原因になることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となる場合があります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因になることがあります。

ACアダプターについて

- ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のACアダプターにふんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外のACアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- ACアダプターの電源はコンセントの奥まで確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーについて

- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かないでください。電極（+端子と-端子）に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様のご意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の誤動作・故障により発生した事故・トラブルに関して弊社及び販売店は一切の責任を負いかねます。

※本製品に該当しない内容も含まれることがあります

ペアリング方法

設置前に必ずペアリング作業を行っていただき、動作確認をお願いします。

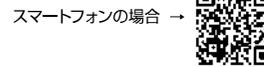


ペアリング前の注意点

カメラのモデルにより、カメラ単体でスマートフォンと接続できる機種がございます。これらのカメラは、録画機と接続するか、スマートフォンと接続するかのどちらかとなり、両方への接続は不可能となっております。先にスマートフォンへ接続登録すると、録画機とのペアリングができなくなります。その際は、スマートフォンアプリからカメラの登録情報を削除していただき、カメラ本体にリセットボタンがある場合はリセットをお願いします。

アプリからカメラの登録情報を削除する方法はこちらから

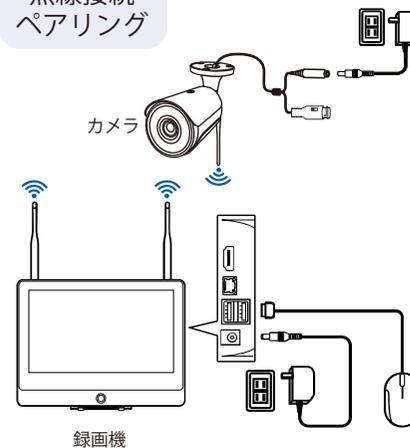
PCの場合 → <https://wtw.support/wtw/camera-deletion-eagle-3-5ver/>



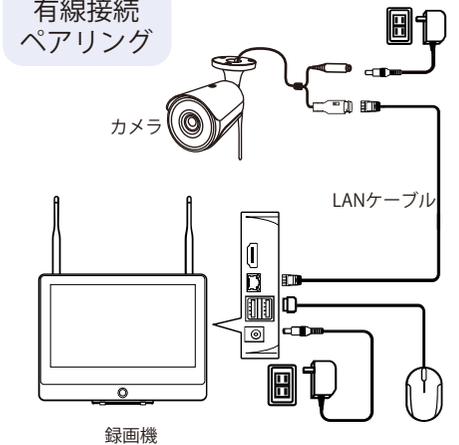
スマートフォンの場合 →

PCまたはスマートフォンよりアクセスしてください。

無線接続 ペアリング

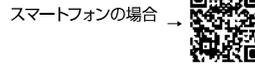


有線接続 ペアリング



録画機EG/BD/PA2510シリーズをお使いのお客様は手順が異なります

PCの場合 → <https://wtw.support/wtw/pairing-eg-bd-pa2510/>



スマートフォンの場合 →

専用の手順書がございますので、PCまたはスマートフォンよりアクセスしてください。

ペアリング方法

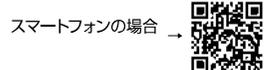
1 カメラの準備

カメラをACアダプターと接続し電源を入れます。

2 録画機でカメラの追加設定をする

イーグルmini(WTW-EG1372)をお使いのお客様は操作方法が異なります

PCの場合 → <https://wtw.support/wtw/wtw-eg1372-manual/>

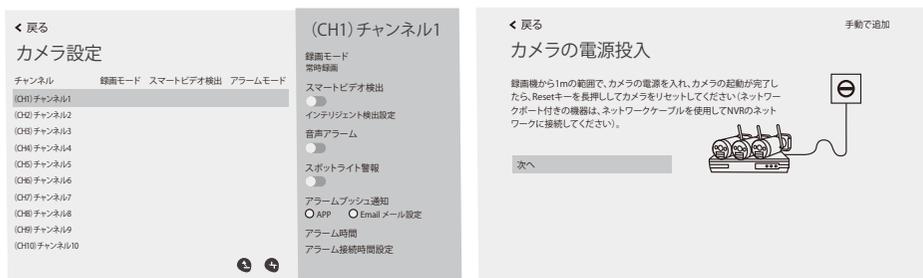


スマートフォンの場合 → イーグルmini(WTW-EG1372)本体の取扱説明書をご参照ください

1 右クリックメニューから【カメラ設定】を左クリックします。



2 【カメラ設定】画面下の【+】をクリックし、【カメラの電源投入】画面で【次へ】を左クリックしてください。



3 【カメラを探しています…】の画面へ移動し、しばらく経つと画面右側に接続されたカメラが表示されます。

⚠ カメラが表示されない場合

LANケーブルでカメラと録画機を接続し
有線接続にてペアリング作業を行ってください。

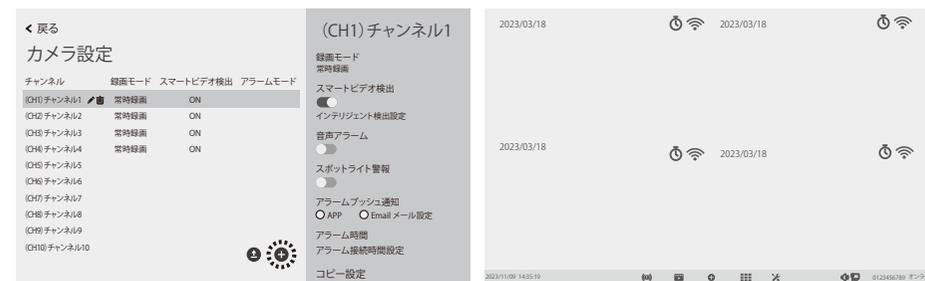
すべてのカメラが表示されたら、画面左下の【次へ】を左クリックします。
【カメラのリアルタイム画面を表示】で接続されたカメラの映像を確認し、
【次へ】を左クリックします。



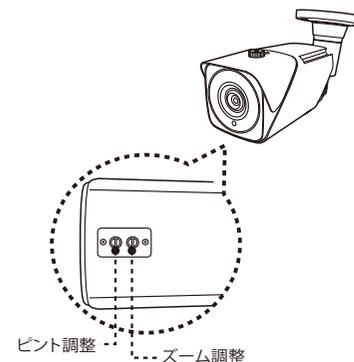
4 【カメラ設定】画面にて接続されたカメラが一覧表示されます。
【戻る】→【戻る】を左クリックでメイン画面へ戻ります。
(登録されたカメラの映像が表示されます)

※画面の分割数は登録したカメラの台数によって変化します。

画面の分割方法は右クリックメニューの【分割画面】から変更することができます。



レンズ調整



本体底面に調整ネジが付いています。

※注意※

調整用ネジトリマーは、ゆっくりと回してください。
無理に回すと、故障の原因となりますのでご注意ください。